

矢板市就農・定住者促進事業

自治体情報 栃木県矢板市
人口 / 34,780人 標準財政規模 / 7,717百万円

担当課 総合政策課
電話番号 直通 0287-43-1112
実施主体 財団法人 矢板市農業公社
関連ホームページ <http://www.yaita-nougyoukousya.jp/inakagurashi/index.html>
事業期間 平成20年度から
関係施策分類 ④

予算関連データ

総事業費：

名称	所管	金額(千円)

施策のポイント

- ① 古民家を利用して、農業体験や田舎暮らし体験の実施
- ② 移住・交流に関するホームページを作成しての情報を提供

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

少子高齢化や過疎化が進み、農業の担い手も減少傾向となっているなか、農業への関心を深めるとともに、移住希望者や二地域居住希望者が矢板市へ移住するきっかけとするため、古民家を活用した「お試しの家」に関する事業を開始した。

2. 取組の具体的内容

- (1) 古民家を改修し、お試しの家として活用
- (2) 古民家へ滞在中は、農業体験を実施
- (3) 田舎暮らしに関する情報提供のためHPの開設

※農業への関心を深めるとともに、移住希望者や二地域居住希望者が矢板市へ移住するきっかけとするため、平成20年度から古民家を活用した「お試しの家」に関する事業を開始。

※事業開始には、古民家を活用するため、古民家の持ち主に古民家提供の依頼、受け入れ自治会による地区活動への参加協力や、農業体験のための地元農業者への協力体制などを確立。

※平成22年度は、より多くの方に活動を知ってもらうため、財団法人地域活性化センターの助成を受け、田舎暮らしに関するホームページを作成し、情報提供を実施。

また、農業体験等を組み込んだ「矢板体験ツアー」を2回実施し、首都圏住民105名の参加があった。

※都民へ直接PRするため、都内で開催された田舎暮らし相談や物産展に出展し、PR活動を実施。

※お試しの家体験者が集まり、体験談や移住に対する考えを話し合う交流会を実施。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- (1) 移住者・農業従事者の確保
- (2) 矢板市（農産物）の認知度アップ（PR活動）
- (3) 農業従事者と消費者との交流

4. 現在までの実績・成果

- (1) 移住者 2世帯
- (2) 「お試しの家」利用実績 10世帯(お試しの家2棟・利用期間6か月まで)
- (3) 矢板体験ツアー 2回実施(参加者105名)
- (4) 田舎暮らし相談件数 31件
- (5) 体験交流会参加者 10名

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

- (1) 拠点となる古民家の確保
- (2) 農業体験の受け入れ先の確保
- (3) 利用希望者へのPR活動

6. 今後の課題と展開

- (1) 体験希望者に対する有効なPR方法の確立
- (2) 体験後の定住に関する情報の集約